

(記号 103 )

(科目名 世界史 )

[誤]

[I] P.17 上から10行中

解答欄 I-Aに

→

[正]

番号を解答欄 I-Aに

(記号 103 )

(科目名 世界史 )

[誤]

[II] P.32 上から3行目

解答欄 II-Aに

→

[正]

番号を解答欄 II-Aに

(記号 103 )

(科目名 世界史 )

[誤]

[III] P.33 上から5行目

解答欄 III-Aに

→

[正]

番号を解答欄 III-Aに

## 世 界 史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 A～C に答えなさい。 (50点)

古代ギリシアの宗教と聞くと、まず思い浮かべるのはギリシア神話であろう。人間味あふれる神々や英雄が織りなす物語は、今日に至るまで人々を惹きつけてやまない。しかし、そうした神話は、キリスト教の聖書やイスラーム教の ( あ ) のような聖典とはならなかった。また、ギリシアには、神父のような専門の聖職者もあまりいなかったとされる。それでは、ギリシア人の宗教とは、実際のところどのようなものだったのだろうか。

古代ギリシアの代表的な神々は、ミケーネ文明<sup>(7)</sup>において既に信仰されていたようである。例えばピュロス出土の文書には、ゼウスやヘラ、ポセイドンなどの神の名がみられる。前1200年頃にミケーネ文明が滅亡したあと、ポリスが成立する前8世紀までの間に、文字 (ギリシア・アルファベット)<sup>(a)</sup>が考案されると、( い ) の叙事詩『イリアス』や『オデュッセイア』、( う ) の叙事詩『神統記』や『労働と日々』が作品として成立した。それらの作品には、ゼウスを主神とするオリュンポスの神々が現れ、以降のギリシア世界で共有される宗教的な世界観の基礎となった。

また、そのような全ギリシア的な神々の聖域が同じ頃に現れる。ギリシア中部の ( え ) はアポロン神の聖域で、その神託はギリシア世界の外側にまで知れ渡っていた。特に、前8世紀から前6世紀にかけて地中海で盛んに行われていた植民活動<sup>(1)</sup>では、その時期や行先について神託を仰ぐために、各地から多くの人々がこの聖域を訪れた。神託は植民活動を正当化し、また危険な船旅に向かう植民者の精神的な支えとなったと考えられる。

同じく全ギリシア的な聖域が ( お ) である。ペロポネソス半島西部にあるこのゼウス神の聖域では、4年に一度の祭典のさいに競技祭が開催されていた。当初の参加者は近隣の人々であったが、前7世紀にはギリシア各地、そして海を越えて植民市からも参加者 (ただし男性に限られた) が集まるようになった。彼

ら参加者の安全のために、祭典の間中は休戦とされた。前420年にこの休戦を破ったとされるスパルタ<sup>(a)</sup>は競技祭への参加を拒否されることになる。このような全ギリシア的な競技祭は（ え ）でもピュティア祭として行われ、共通の文化<sup>(b)</sup>を基礎とするギリシア人アイデンティティの形成に役立った。競技祭での優勝者の名誉がギリシア世界に広く伝わったのも、こうした共通の文化を背景としている。

一方、各ポリスには国家が主導する公的な宗教が存在し、国家の守護神として独自の神々が信仰されていた。例えば、アテネ（アテナイ）ではアテナ女神が崇拜され、（ か ）と呼ばれる市域の中心にある丘の上にはその聖域がおかれた。ペルシア戦争後にペリクレス<sup>(c)</sup>の指導の下で再建されたアテナの神殿が、現在も残る（ き ）神殿である。このような公的な宗教は、ポリスや地域、家族単位で実践され、多くの場合、動物の犠牲を伴う供儀が行われた。供儀の後には、犠牲獣の肉が参加者に振舞われ、その共同体の成員としての自覚を形成するのに寄与したとされる。また、これらの祭典では悲劇や喜劇<sup>(d)</sup>が上演されることもあった。

その他、古代ギリシアでは個人の死後の安寧や救済を願う密儀宗教も存在した。公的な宗教にあずかれるのは市民に限られていたが、例えばデメテル女神とその娘ペルセポネを信仰するエレウシスの秘儀では、市民以外の外国人や解放奴隷<sup>(e)</sup>（メトイコイ）、奴隷、そして女性も参加できた。ただし、その祭儀の内容は口外禁止とされ、詳細は知られていない。このような密儀宗教は、続くヘレニズム時代やローマ時代にオリエントの影響も受けながら、たびたび流行した。エジプトのイシス女神信仰や、ローマで軍人を中心に広がったミトラス信仰がその代表例である。

アケメネス朝ペルシアを滅ぼした（ く ）大王の東方遠征に始まるヘレニズム時代<sup>(f)</sup>には、エピクロス派やストア派のようにポリスの枠にとらわれない（ け ）の思想が、特に知識人の中で広まった。一方で従来のポリスの公的な宗教も引き続き行われ、むしろ各地で（ え ）や（ お ）で行われたような競技祭が開かれるようになった。また、それらと並行して、ヘレニズム諸王国の君主を神格化する君主崇拜もポリスによって執り行われた。君主はそれによって自身の権威を強化するとともに、君主崇拜を実施したポリスは君主から様々な恩

恵を得ることができた。ギリシア世界を統治することになったローマ皇帝もまた<sup>(c)</sup>神格化され、皇帝崇拜が帝国各地に広まった。

このように、ギリシア世界では様々な宗教が成立・流入し、同時並行的に展開していた。キリスト教も、そうした状況の中で広まっていくのである。後3世紀以降、キリスト教は次第に影響力を強め、最終的に（こ）帝によって後392年に事実上の国教となるが、それ以前のギリシア的な宗教は完全に消え去ったわけではなく、むしろキリスト教と融合し、後のヨーロッパ世界の源流を形作ることになる。

設問A 空欄（あ）～（こ）に入る適切な語句を、下の語群より選び、  
解答欄I-Aに記入しなさい。

【語群】

- |               |                 |             |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1 アクロポリス      | 2 アゴラ           | 3 アリスタルコス   |
| 4 アレクサンドロス    | 5 アントニウス        | 6 イッソス      |
| 7 イデア         | 8 オリュンピア（オリンピア） |             |
| 9 カイロネイア      | 10 クルアーン（コーラン）  |             |
| 11 コイナー       | 12 コスモポリタニズム    | 13 コリントス    |
| 14 コンスタンティヌス  | 15 スーフィー        | 16 セネカ      |
| 17 ソフィスト      | 18 ダレイオス        |             |
| 19 デイオクレティアヌス |                 | 20 テオドシウス   |
| 21 デルフォイ      | 22 トウキュディデス     | 23 ネアポリス    |
| 24 ハラージュ      | 25 パルテノン        | 26 パンテオン    |
| 27 ファランクス     | 28 フィリッポス       | 29 フェイディアス  |
| 30 フォルム       | 31 プラタイア        | 32 ペイシストラトス |
| 33 ヘシオドス      | 34 ヘロドトス        | 35 ホメロス     |
| 36 ホラティウス     | 37 マッサリア        | 38 マラトン     |
| 39 ミレトス       | 40 ユリアヌス        |             |

設問B 下線部(ア)～(キ)に関する文 i～iii の下線部についてそれぞれ正誤を判断し、すべて正しい場合は数字 1、i のみ正しい場合は数字 2、ii のみ正しい場合は数字 3、iii のみ正しい場合は数字 4、i のみ誤っている場合は数字 5、ii のみ誤っている場合は数字 6、iii のみ誤っている場合は数字 7、すべて誤っている場合は数字 8 を選び、解答欄 I - B に記入しなさい。

(ア) ミケーネ文明

- i ミケーネやティリンスでは城壁を伴わない宮殿を中心に小王国が形成された。
- ii ミケーネ文明で用いられた線文字Bは、ヴェントリスによって解読された。
- iii ミケーネ文明を担った人々は、宮殿を中心に栄えていたクレタ島も支配した。

(イ) 前 8 世紀から前 6 世紀にかけて地中海で盛んに行われていた植民活動

- i ギリシア人の植民市は、地中海や黒海の沿岸に建設された。
- ii 植民市は、その植民を行った本国（母市）に政治的に従属していた。
- iii 植民活動の理由として、本国の人口の増加や土地の不足があった。

(ウ) スパルタ

- i スパルタはペリオイコイやヘイロータイといった隷属民を多数抱えており、その反乱を防ぐために強力な軍事力を維持する独自の体制を作り上げた。
- ii スパルタは、前 5 世紀後半にデロス同盟の盟主として、アテネを相手にペロポネソス戦争を戦った。
- iii 前 4 世紀前半には、スパルタを破ったマケドニアがギリシアの覇権を握った。

(エ) ペリクレス

- i ペリクレスは陶片追放（オストラキスモス）制度の創設といった改革を行い、アテネ民主政の基礎を築いた。
- ii ペリクレスはペルシア戦争で指揮をとり、ギリシア方の勝利に貢献した。
- iii ペリクレスの指導下にあったアテネでは、民会には成年男性市民全員が参加でき、ほぼすべての役人がくじで選ばれるなど、徹底した民主政がなされた。

(オ) 悲劇や喜劇

- i 祝祭における悲劇や喜劇は、競演（コンテスト）の形で上演された。
- ii 三大悲劇詩人のひとりであるエウリピデスは神話を基に『メデア』を作った。
- iii 喜劇詩人アイスキュロスは、『女の平和』などの作品で当時のアテネ社会を風刺した。

(カ) 市民以外の外国人や解放奴隷（メトイコイ）、奴隷

- i アテネではソロンの改革によって、債務のために自由人を奴隷とすることが禁じられた。
- ii アテネでは前451年の市民権法によって、市民権は原則として両親がともにアテネ市民である成人男性にのみ与えられた。
- iii ローマでは、カラカラ帝によって後212年に帝国の全自由人にローマ市民権が与えられた。

(キ) ヘレニズム時代

- i ヘレニズム王国として、マケドニアにはセレウコス朝、西アジアではアンティゴノス朝、エジプトではプトレマイオス朝が成立した。
- ii エジプトのアレクサンドリアにあるムセイオン（王立研究所）には知識人が集まり、学問や文化の中心となった。
- iii インドのグプタ朝の下では、ヘレニズム美術の影響を受けた仏像様式で知られるガンダーラ美術が開いた。

**設問C** 次の(a)~(c)に関する以下の問題について、適切な語句を解答欄 I - C に記入しなさい。

- (a) ギリシア・アルファベットは、シドンやティルスを拠点に海上交易を盛んに行っていた人々が既に使っていた文字に手を加えて成立した。彼らが使っていた文字は、一般に何文字と呼ばれているか。
- (b) 古代のギリシア人は異なる言語や文化をもつ人々（ペルシア人など）をバルバロイと呼んで区別していた。ギリシア人は、そのような人々に対して自らを何と呼んでいたか。
- (c) ローマ皇帝の中には、ギリシア世界から文化的・思想的に影響を受けた者たちもいた。その一人であるマルクス＝アウレリウス＝アントニヌスが、自身の日々の哲学的思索などをギリシア語で書き綴った作品は、後期ストア哲学の代表作ともなっている。その作品は一般に何と呼ばれているか。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問A～Dに答えなさい。

(50点)

17世紀に入ると、ヨーロッパ諸国は本格的に北米大陸への進出を試みた。フランスは毛皮動物や良好な漁場を求めてセントローレンス河口の（a：1. ケベック、2. ニューオーリンズ、3. ニューネーデルラント、4. ルイジアナ）を拠点として活動した。これに対してイギリスは17世紀初頭に北米最初の植民地（b：1. ヴァージニア、2. ケープ、3. ニューファンドランド、4. フロリダ）を開いた。そこでは早くも1619年に植民地議会が設けられて自治的制度が成立したが、他方で同年にアフリカ人が奴隷労働力として導入された。さらに、ピュリタンの一団が信仰の理想郷を求めて北東部沿岸のプリマスに上陸し、ニューイングランド植民地の基礎をつくった。イギリスはまた、オランダから植民地を奪い、その中心地を（c：1. コネティカット、2. ニューヨーク、3. フィラデルフィア、4. ボストン）と改称した。入植当初、南部の植民地は存続が危ぶまれるほどきわめて不安定な状況であったが、換金作物として（d：1. カカオ、2. サトウキビ、3. タバコ、4. 綿花）や米をプランテーションで栽培し、イギリス本国やヨーロッパへ輸出することで植民地発展の基を築いた。

18世紀に入ると、ヨーロッパでたびたび勃発した王位継承戦争が北米にも飛び火し、フランスとイギリスは激しく衝突した。なかでも18世紀半ばのヨーロッパにおける（e：1. オーストリア継承戦争、2. 三十年戦争、3. 七年戦争、4. スペイン継承戦争）のときには、植民地ではフレンチ＝インディアン戦争が起こり、イギリス本国と植民地の連合軍の勝利によって北米大陸におけるイギリスの優位が確立された。しかし、この戦争によってイギリスの国庫は危機的な状況に陥り、財政再建のために従来の植民地運営の見直しをせまられた。1765年、イギリス政府が（f：1. 印紙法、2. 航海法、3. 穀物法、4. 茶法）で課税すると、イギリス本国とアメリカ植民地の関係は急速に悪化し始めた。1773年には港に停泊中のイギリス商船から茶箱を海に投棄する事件がおこった。この事態を重くみたイギリス本国は港市住民に厳しい強制措置をとるが、反発した植民地側は（g：1. ニューヨーク、2. ヨークタウン、3. フィラデルフィア、4. ボストン）で大陸会議を開いて本国に抗議した。1775年に本国軍と植民地民兵の間で



武力衝突が生じ、翌年植民地側は独立宣言を発表した。

独立戦争は、最初一進一退であったが、戦争が長期化する様相をみせると、イギリスと対抗関係にあったヨーロッパ諸国が植民地側にとって参戦し、さらに（h：1. スウェーデン，2. スペイン，3. フランス，4. ロシア）の提唱によって武装中立同盟が結ばれて、イギリスは孤立した。独立戦争に勝利したアメリカ合衆国は、人民主権・三権分立・（i：1. 永世中立，2. 孤立主義，3. 正統主義，4. 連邦主義）などを特徴とする憲法を採択して新国家の諸原則を確立した。

建国初期にアメリカ合衆国は、ヨーロッパ列強の権力外交が入り乱れるなかで難しい外交関係に直面したが、（j：1. ジェファソン，2. ジャクソン，3. モンロー，4. ワシントン）大統領のときにフランスからルイジアナを買収し、<sup>(i)</sup>以後の領土拡大の道がつけられた。メキシコとの戦争に勝って太平洋岸までの広大な領土を獲得したアメリカ合衆国は、<sup>(ii)</sup>太平洋海域への関心を強め、19世紀末にはスペインとの戦争の結果、フィリピンや（k：1. ニューギニア島，2. グアム島，3. フィジー諸島，4. タヒチ島）を獲得し、<sup>(x)</sup>ハワイも併合した。

西部の発展とともに、奴隷制をめぐるアメリカ国内の対立が先鋭化した。奴隷制拡大に反対する勢力は（l：1. 共和党，2. 自由党，3. 保守党，4. 民主党）を結成し、同党のリンカンが1860年に大統領に選出されると、南部諸州は連邦から脱退し、南北戦争が勃発した。激しい内戦の末、奴隷制度は廃止されたが、解放された黒人の多くは（m：1. アシエント，2. エンコミエンダ，3. シェア＝クロッパー，4. ホームステッド）の制度により、貧しい生活をおくらざるをえなかった。

**設問 A** 文中の括弧内 a～m に入る最も適切な語句をそれぞれ 1～4 より一つずつ選び、番号を解答欄Ⅱ－A に記入しなさい。

設問B 下線部(ア)～(エ)に関する次の問いに対する答えを、解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

(ア) この時に国教会を重視してピューリタンを圧迫していたイギリスの国王はだれか。

(イ) この前年に、フランスのナポレオンはいったんイギリスと和平を取り決めるが、その取り決めは何と呼ばれるか。

(ウ) アメリカ合衆国がロシアからアラスカを購入したときのロシア皇帝で、後にナロードニキによって暗殺されるのはだれか。

(エ) アメリカ合衆国に併合される前に退位したハワイ王国の最後の国王はだれか。

設問C 以下はアメリカ独立宣言（抜粋の翻訳）である。（ ）内の i～v に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを下の 1～5 よりひとつ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Cに記入しなさい。

われわれは、以下の真理を自明のことと信じる。すなわち、すべての人間は（ i ）につくられ、神によって、一定の譲り渡すことのできない（ ii ）を付与され、そのなかに生命、（ iii ）および幸福の追求が含まれることを。またこれらを確保するために人々のあいだに（ iv ）がつくられ、そしてその正当な権力は被治者の（ v ）に由来するものであることを。

- |    |   |    |    |    |     |    |    |    |   |    |
|----|---|----|----|----|-----|----|----|----|---|----|
| 1. | i | 自由 | ii | 権利 | iii | 平等 | iv | 政府 | v | 権威 |
| 2. | i | 平等 | ii | 権利 | iii | 自由 | iv | 政府 | v | 同意 |
| 3. | i | 自由 | ii | 平等 | iii | 権利 | iv | 社会 | v | 選挙 |
| 4. | i | 平等 | ii | 自由 | iii | 財産 | iv | 社会 | v | 主権 |
| 5. | i | 平等 | ii | 権利 | iii | 財産 | iv | 政府 | v | 選挙 |

設問D 次の(イ)～(ハ)の文章 a と b について正誤を判断し、 a b ともに正しい場合は数字 1 を、 a のみ正しい場合は数字 2 を、 b のみ正しい場合は数字 3 を、 a b ともに誤っている場合は数字 4 を、解答欄Ⅱ－D に記入しなさい。

(イ)

- a 第一次世界大戦の後に、アメリカ合衆国はイギリスをしのぐ世界の工業国となった。
- b 工業化をすすめるアメリカ合衆国は、1920年代の移民法で日本からの移民を禁止するまで、外国からの移民を制限することはなかった。

(ロ)

- a 1920年代のアメリカ合衆国では、大量生産方式で工業製品の低価格化がすすみ、自動車なども大衆に普及した。
- b 1920年代のアメリカ合衆国では、大衆文化の高まりを背景にして、禁酒法廃止や労働者保護などの進歩的改革が大きく進展した。

(ハ)

- a 1929年に始まった世界恐慌の影響が広がると、イギリスやフランスは輸入制限や高い関税などで排他的な経済圏をつくった。
- b 1929年に始まった世界恐慌では、ソヴィエト連邦もアメリカ合衆国と同様に甚大な影響を受けて工業生産などが激減した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～設問19に答えなさい。

(50点)

今年(2020年)は、大韓民国で民主化を求める学生らのデモによって李承晩大統領が失脚した四・一九革命から60周年を迎える。このとき辞任し、ハワイへの亡命を余儀なくされた李承晩とはどのような人物だったのか。その歩みを世界史との関係から振り返ってみよう。

李承晩は1875年に朝鮮の黄海道で生まれた。彼の家は系図上では第3代朝鮮国王の傍系の子孫にあたるが、没落した士族の家系であり、何代も官職に就く者を出していなかった。書堂と呼ばれる教育施設で漢学を学んでいた彼は、科挙制度の廃止を受け、アメリカの宣教師アペンゼラーが建てた培材学堂で新教育を受けることになった。

李承晩は1896年に設立された独立協会の運動に参加した。しかし1898年に朝鮮の政府によって同協会が解散させられたのにともない、彼は投獄されてしまった。1904年によく出獄し、渡米した。彼はまずジョージ=ワシントン大学で学んだが、その頃にアメリカの国務長官と面談したり大統領に請願したりなど、アメリカ政府の支援による朝鮮の独立確保を目指した。その後、李承晩はプリンストン大学で博士号を取得した。

李承晩の独立維持の願いもむなしく、日本は朝鮮を完全に植民地化した。しかし朝鮮民衆の独立への要求は強く、1919年、「独立万歳」をさげふデモが朝鮮全土に広がった。この三・一独立運動を受け、中国大陸に集まった朝鮮人独立運動家らが大韓民国臨時政府を結成し、李承晩はその大統領となった。指導部内の葛藤もあり、1925年には大統領を免職されて臨時政府との関係が途絶えたこともあった。しかしその後も李承晩は、1933年に開催された国際連盟総会で朝鮮の独立をうったえるため、臨時政府の全権大使としてジュネーヴに派遣されるなど、アメリカを主たる拠点に臨時政府の外交面でのロビー活動を続けた。第二次世界大戦中には、アメリカに臨時政府の承認を求める活動を展開したが、その願いはかなわなかった。

1945年8月、日本がポツダム宣言を受諾して降伏した。朝鮮は日本の支配からは解放されたものの、南北に分割占領された。同年10月、李承晩はアメリカの軍

用機に乗って南朝鮮に帰還した。1945年12月に開催された米・英・ソの外相会談で、朝鮮を国際連合の信託統治下に置くこと、新たに発足させる米ソ共同委員会でその具体案を決めることが合意された。南朝鮮では、この信託統治案に対して右派は反対、左派は賛成の立場をとり、米ソ冷戦を背景とする政治対立が激化した。強い反共・親米の政治信念をもっていた李承晩は、信託統治案に反対するだけでなく、南だけでの単独政府樹立論を展開した。結局、米ソ共同委員会が決裂し、中道勢力による南北協調の努力も失敗に終わるなか、1948年に南北で別々の国家の樹立が宣言された。李承晩は大韓民国の初代大統領に就任し、反共主義にもとづく国づくりを推進した。

1950年に勃発した朝鮮戦争は、南北朝鮮の民衆に甚大な被害をもたらし、南北分断が固定化することになった。李承晩は戦時中にも大統領の座を維持するため、戒厳令を發布して改憲を強行した。停戦後も、議員票数の「四捨五入」による改憲、対立する政治陣営の弾圧、不正選挙などが続いて民心が離反するなか、1960年の四・一九革命が起きたのである。李承晩は亡命先のハワイで、1965年、90年の生涯を終えた。

**設問 1** 下線部(1)に関連する次の a～c の記述のうち、a のみ正しい場合は数字 1、b のみ正しい場合は数字 2、c のみ正しい場合は数字 3、a のみ誤っている場合は数字 4、b のみ誤っている場合は数字 5、c のみ誤っている場合は数字 6、全て正しい場合は数字 7、全て誤っている場合は数字 8、を解答欄Ⅲ－A に記入しなさい。

- a 李承晩は日韓基本条約を結び、輸出工業の育成に努めた。
- b 四・一九革命の最中、光州で発生した民主化運動を武力弾圧する光州事件がおこった。
- c 李承晩が失脚した1960年に、朴正熙が軍事クーデタによって権力を掌握した。

**設問2** 下線部(2)に関連して、次の1～4は1870～1880年代に起きたできごとである。これを時代の古いものから順番に並べたとき、2番目と3番目にくるものはどれか。2番目の番号と3番目の番号をそれぞれ解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

- 1 江華島事件
- 2 甲申政変
- 3 壬午軍乱
- 4 日朝修好条規

**設問3** 下線部(3)の第3代国王は太宗であり、李承晩は太宗の長男の子孫とされる。一方、太宗を継いで第4代国王世宗となったのは太宗の第3子であった。世宗は新たな文字を制定したことで知られる。以下の1～4は、いずれも東アジアの文字制定についての記述である（参考：鄭光『蒙古字韻研究』オークラ情報サービス、2015年）。これを時代の古いものから順番に並べたとき、2番目と3番目にくるものはどれか。2番目の番号と3番目の番号をそれぞれ解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

- 1 金の太祖は、完顔希尹に漢字を變形した文字を作らせて勅令として頒布した（女真大字）。
- 2 元の世祖（フビライ）は、チベットのラマ僧パクパ（パスパ）に命じ、モンゴル語を記録するために文字を作らせ、勅令により頒布した（パスパ文字）。
- 3 『世宗実録』の記述によれば、世宗25年12月に世宗自らが訓民正音28字を制定した。
- 4 遼の太祖は、突呂不、魯不古等に契丹国字を作らせ、詔勅により頒布した（契丹大字）。

**設問4** 下線部(4)に関連して、高麗および朝鮮の特権的な有力者層のことを何と呼ぶか。高麗時代にこの語は文官と武官の総称として用いられていたが、朝鮮時代には官僚を事実上独占した家柄や身分を表すものとなった。解答欄Ⅲ-Bに漢字で記入しなさい。

設問 5 下線部(5)で言及されているように、朝鮮では1894年に科挙制度が廃止された。では、清で科挙が廃止されたのは何年か。解答欄Ⅲ－Bに西暦で記入しなさい。

設問 6 下線部(6)のアペンゼラーは、他のプロテスタント系宣教師らとともに聖書の朝鮮語訳の事業に携わっていた。聖書の翻訳の歴史に関連する次の1～4の記述のうち、誤っているものはどれか。番号を選び、解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- 1 はじめラテン語で書かれた『新約聖書』は、ギリシア語に翻訳されたことでローマ帝国全土に広まった。
- 2 イギリスのウィクリフは、聖書こそ信仰の最高の権威であるとして、聖書を英訳した。
- 3 ベーメンのフスは、聖書をチェコ語（チェック語）に翻訳し、チェコ語で説教をおこなった。
- 4 ドイツのルターは、ザクセン選帝侯の保護のもとで、『新約聖書』のドイツ語訳を完成した。

設問 7 下線部(7)に関連して、1890～1900年代の朝鮮に関する次の1～4の記述のうち、正しいものはどれか。番号を選び、解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- 1 崔済愚らが起こした甲午農民戦争は、朝鮮半島南部を中心に拡大した。
- 2 下関条約により、日本と清は朝鮮が完全な独立国であることを確認した。
- 3 清や日本と対等な独立国であることを示すために、朝鮮は国号を大韓民国と定めた。
- 4 日本は韓国の外交権を奪ったことでロシアと対立し、日露戦争が勃発した。

**設問 8** 下線部(8)で言及されている人物は、マッキンリーとローズヴェルトの両大統領のもとで国務長官を務めた。それは誰か。その名前を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい（ファーストネームも含めて書くこと）。

**設問 9** 下線部(9)のプリンストン大学で李承晩が博士論文を準備している頃、ウッドロー＝ウィルソンが同大学の総長を務めていた。ウィルソンと第一次世界大戦およびヴェルサイユ体制に関する次の1～4の記述のうち、正しいものはどれか。番号を選び、解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- 1 東部戦線でドイツがロシア軍をやぶったのを受け、アメリカはドイツとの外交を断絶し宣戦した。
- 2 ウィルソン大統領は、アラブ人の住むパレスティナにユダヤ人の民族的郷土の設定を認める宣言を出した。
- 3 パリ講和会議では、ウィルソン大統領が発表した十四か条の平和原則が基礎とされたが、その原則は部分的にしか実現されなかった。
- 4 ウィルソン大統領の提唱した民族自決の原則にもとづき、ヴェルサイユ体制下で朝鮮やインドは国際連盟の委任統治下に置かれた。

**設問10** 下線部(10)に関連して、次の1～4は、日本が朝鮮（韓国）を植民地化する過程で起きたできごとである。これらを時代の古いものから順に並べたとき、2番目と3番目にくるものはどれか。2番目の番号と3番目の番号をそれぞれ解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- 1 韓国併合に関する条約が結ばれた。
- 2 高宗がハーグ万国平和会議に密使を送った。
- 3 第3次日韓協約により日本は韓国の行政権と司法権を奪った。
- 4 日本が韓国に統監府を設置した。



設問11 下線部(1)で言及されている朝鮮の三・一独立運動と同時期に、アジア・アフリカ各地で民族運動が広まった。次の1～4はそうした運動に関する記述である。このうち正しいものを1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- 1 ヴェルサイユ条約に対する抗議デモが中国各地に広がったが、パリに派遣されていた中国代表団は同条約の調印を強行した。
- 2 インドのガンディーの指導のもと、非暴力・不服従運動が展開されたが、これに全インド＝ムスリム連盟は対立した。
- 3 オランダが支配するインドネシアでは、スカルノがインドネシア共産党を結成し、独立をとらえた。
- 4 第一次世界大戦中にイギリスの保護国とされたエジプトでは、戦後ワフド党を中心に独立運動が組織された。

設問12 下線部(2)の大韓民国臨時政府が最初に拠点とした中国大陸の都市はどこか。解答欄Ⅲ－Bに漢字で記入しなさい。

設問13 下線部(3)では1933年の国際連盟総会に言及しているが、次のa～cはいずれもこの頃に国際連盟をめぐって起きたできごとに関わる記述である。このうち、aのみ正しい場合は数字1、bのみ正しい場合は数字2、cのみ正しい場合は数字3、aのみ誤っている場合は数字4、bのみ誤っている場合は数字5、cのみ誤っている場合は数字6、全て正しい場合は数字7、全て誤っている場合は数字8、を解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

- a 日本は清朝最後の皇帝であった溥儀を執政として満州国を建てた。
- b 国際連盟はイギリスの提訴によってリットン調査団を派遣した。
- c ドイツは、ザール地方編入に対する国際連盟の反対決議に抗議し、国際連盟を脱退した。

設問14 下線部(14)に関連して、戦時中に朝鮮人作家の李光洙は名前を香山光郎に変更した。このような朝鮮人の名前や家族制度を変更させた朝鮮総督府の政策を何というか。解答欄Ⅲ－Bに漢字で記入しなさい。

設問15 下線部(15)の国際連合に関する次の囲みの文章には誤りが含まれる。1～4はいずれもその誤りを指摘しようとしている記述である。しかし、正しく指摘している記述は1つしかない。その番号を選び、解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

「連合国」も「国際連合」も英語ではともに“United Nations”であることから分かるように、国際連合は連合国の戦後秩序構想から生まれた。1941年、米・英首脳が発表した大西洋憲章は戦後世界秩序の大枠を示していた。1944年、ダンバートン＝オークス会議において国際連合憲章の草案が協議されたが、この会議に参加した5か国がのちの国際連合設立時に安全保障理事会の常任理事国となった。1945年4～6月のサンフランシスコ会議で国際連合憲章が採択された。そうして同年10月には51か国を原加盟国として国際連合が発足した。

- 1 「連合国」は英語で“League of Nations”であって、“United Nations”とは呼ばれていなかった。
- 2 大西洋憲章は、米・英にソ連も加えた3か国首脳の会談時に発表された。
- 3 ダンバートン＝オークス会議には、国連設立時の安保理常任理事国のうち、フランスを除く4か国が参加していた。
- 4 国際連合憲章が採択された都市はサンフランシスコではなくニューヨークである。

**設問16** 下線部(16)の米ソ冷戦に関連して、次の囲みの文章は、ある国の政治指導者が第二次大戦後におこなった議会演説の一部を日本語訳したものである。これを語ったのは誰か。下記の1～6のなかから選び、解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

私はわが国がギリシアとトルコに援助を与えることがもつ大局的な意味を十分に意識している。私はその意味について諸賢とともに今これから論じたいと思う。〔…〕世界史の現時点においては、ほとんどすべての国が、異なる生活様式から一つを選ぶことを求められている。その選択はあまりにもしばしば自由な選択ではないのである。一つ的生活様式は、多数者の意志に基礎を置き、自由な諸制度、代議政体、自由な選挙、個人の自由の保障、言論と宗教の自由、そして政治的圧政からの自由によって特徴づけられるものである。第二の生活様式は、多数者を力によって強制している少数者の意志に基礎を置いている。それは恐怖と圧制、統制された出版と放送、しくまれた選挙、そして個人の自由の圧迫の上に成り立つものである。私は武装した少数派や外部の圧力による征服の意図に抵抗しつつある自由な諸国民を援助することこそ、わが国の政策でなければならないと信じる。

(出典：藤田宏郎編著『戦後日本の国際関係』。ただし、具体的な国名が入っている箇所を「わが国」にするなど、一部字句変更した。)

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. アトリー  | 2. スターリン  | 3. チャーチル |
| 4. トルーマン | 5. フルシチョフ | 6. マーシャル |

**設問17** 下線部(17)で述べているように、1948年に朝鮮半島の南北それぞれで国家の樹立が宣言されたが、そのうち北部で創建された政府の正式な国号は何か。解答欄Ⅲ－Bに漢字で記しなさい(なお、「北朝鮮」は略称なので不正解とする)。

**設問18** 下線部(18)の朝鮮戦争は、戦線が南北を行き来したことから「アコーディオン戦争」とも呼ばれた。次の文章は戦線の往来によってソウルがどのような状況に置かれたかを整理したものである。文中の空欄 a～d には国名が入る。下記の1～6の国名のうち、bとdに入るものはそれぞれどれか。解答欄Ⅲ－Aに記入しなさい。

1950年6月、( a )の軍隊が38度線をこえて侵攻し、間もなくソウルは陥落した。国連安保理は、( b )が欠席するなか、( a )の侵略と認定して国連軍の派遣を決議した。同年9月、( c )の軍隊を中心とする国連軍が仁川上陸作戦に成功し、ソウルを奪還した。しかし国連軍が38度線をこえて進軍すると、( d )が義勇軍として( a )側で参戦した。そのため1951年1月にソウルは再び( d )と( a )の軍隊の占領下に置かれるが、3月には国連軍側がソウルを再占領した。このような占領と再占領は1951年4月にもあった。

- |      |       |        |
|------|-------|--------|
| 1 韓国 | 2 北朝鮮 | 3 アメリカ |
| 4 ソ連 | 5 中国  | 6 日本   |

**設問19** 下線部(19)の1960年は、アフリカで17か国が独立したため「アフリカの年」とも呼ばれている。その先駆的なできごととして、1957年にアフリカで最初の自力独立の黒人共和国が生まれた。その独立運動の指導者で、独立後に初代首相となった人物は誰か。その名前を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。